

第2期銚子市しごと・ひと・まち創生総合戦略(案)の概要

人口ビジョン

(2060年を視野に入れた)
中長期ビジョン

2060年目標人口34,000人
(社人研推計17,913人)
※社人研推計より16,000人程度の増加をめざす

人口の将来展望

●2040年に転出超過0を目指し、2060年までに転入超過500人程度を目指す

●2040年に合計特殊出生率1.8を目指し、その後は1.8を維持

●平均寿命(健康寿命)の延伸により元気な高齢者の増加を目指す

重点プロジェクト

(総合計画元気プロジェクト)

- ①銚子の強みを生かした雇用の場の創出
- ②自然(再生可能)エネルギーの活用促進
- ③質の高い子育て支援と文教都市の形成
- ④多様な主体が支え合いながら安心して生活できる地域づくりの推進
- ⑤広域化線道路の開通による道路ネットワークの確立

総合戦略(令和2年度~6年度の5か年)

確かな食樂仕の形 ~地域資源が循環する銚子創生~

1 基本姿勢

- 若い世代が住みたくなるまちを目指し、4つの基本目標を掲げ施策を推進
- 若者が求める「しごとづくり」を第一の目標とし、併せて関連する「ひとづくり」「まちづくり」の施策を推進
- 官民連携、異業種連携、政策間連携を推進し、市民をはじめとする多様な主体によるまちづくり
- 外部有識者の参画により客観的な効果検証と改善を行うPDCAサイクルの確立

2 基本目標と具体的な施策

1 稼げる地域をつくり、安心して働けるようにする

日本一の水揚げを誇る漁業、全国有数の出荷額を誇る農業や水産加工業などの産業を維持・発展させ、やりがいを感じることのできる魅力的なしごと・雇用機会を創出する。

- 稼げる水産業、農業の確立
- 雇用の創出
- 再生可能エネルギーの活用
- 産業を支える人材の確保

2 新しいつながりを築き、ひとの流れをつくる

日本一早い初日の出、新鮮な魚・野菜などを中心とした銚子の食、銚子ジオパークなど銚子の魅力を今以上に情報発信し、移住者や観光客の増加に繋げる。郷土に誇りを持つ人材を育成し、未来を担う人材の郷土定着につなげる。

- 魅力ある観光地づくり
- 移住・定住の促進、関係人口の創出
- 未来を担う人材の郷土定着

3 若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できるまちをつくる

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行う。若い世代同士で交流できるコミュニティづくりを促進する。誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を目指す。

- 結婚、出産、子育ての希望をかなえる支援
- 健康で活躍できる仕組みづくり
- 多文化共生のまちづくり

4 地域で連携し、安心して魅力的なまちをつくる

市民が地域を愛し、生きがいを持って安心して暮らし続けることができるよう、多様な主体が連携して地域を支える仕組みを構築する。

- 地域資源の活用
- 地域防災力の向上
- 地域資源循環の仕組みづくり

- ・銚子漁港受入体制の整備、水産物の販路拡大
- ・農産物の販路拡大、6次産業化の推進
- ・創業の支援、企業・起業家の誘致
- ・洋上風力発電施設の誘致
- ・地域新電力事業の推進
- ・地元企業の人材確保、事業承継の支援 など

- ・銚子版DMOによる観光まちづくりの推進
- ・スポーツ・ヘルスツーリズムの促進
- ・外国人観光客の誘致促進
- ・シティプロモーションの推進
- ・移住・定住の促進
- ・地域おこし協力隊の活用
- ・ふるさと学習の推進 など

- ・子育てサービスの充実、不妊治療の支援
- ・若い世代の意見交換の場の創設
- ・市民の健康づくり
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・グローバル人材の育成
- ・外国人住民にも住みやすいまちづくり

- ・銚子ジオパークの推進
- ・日本遺産の魅力向上
- ・地域防災の人材確保
- ・外部人材・地域通貨の活用

地域資源を活かし新しい流れをつくる